

職種	校種	6. 職場実態をふまえた「学校の働き方改革」に関するご意見（200文字以内）	
1 教員	小学校	タブレットは導入されたが、ICTを活用するための教室環境は整っていない。また、サポートする支援員も月に1.2回しか来られないため、準備に時間がかかっている。	匿名希望
2 養護教員	小学校	一教員が担う仕事量半端なく多い現況です。教職員の定数の基準を下げないことには、改革もあり得ません。	ゆん
3 教員	中学校	職員会議がある日は、短縮授業にして、部活動をしません。ただし、全教員が部活顧問になるため、土日の活動には参加します。試合だけでなく、練習もあり、時間がとられます。	先生たちの意見
4 教員	小学校	働き方改革は勤務する教師自身が考えを変えなければ変わらない。コロナ前と同じことをしようとしてはだめ。	30年越え
5 教員	小学校	働き方改革として、昼休みの縮小、昼休み後の読書タイムの削減がなされました。確かに放課後の時間は長くなりましたが、実感として昼休み後からの慌ただしさがきつく感じます。一概に働き方改革、時間短縮というのも難しいものだと感じています。	匿名希望
6 教員	小学校	働き方改革と言われているが、業務量は変わっておらずむしろ新たに 教育など業務量は増える一方なのが現状である。働いている教職員自身の意識改革も必要だと思うが、実際の業務量が減らないまま働き方改革の実現は厳しいと考える。	匿名希望
7 教員	小学校	校務支援ソフトの導入により、成績処理、成績資料作成等の作業はとても効率が良くなった。しかし、その作業は、放課後の限られた時間しか取れず、やむを得ず残業、あるいは、休日に出勤して作業する者がほとんどである。情報の機密性ゆえ、校内に限られる作業であるのならば、この作業時間を拡充してほしい。1週間、午前授業の日課で統一するのはどうか。または、学期を2期制にし、長期休暇期間に作業にあたる方法はどうか。	匿名希望
8 教員	小学校	今年度に入り、4月に一人療休に入った職員がいましたが、代替教員が見つからず児童支援専任が代わりに担任となり、級外も授業を持つことになりました。7月にも一人妊娠悪阻で療休に入るも代替職員が見つからず、さらに10月に産休に入る予定の職員がいますが、その代替も決まっておらず、深刻な人手不足です。働き方改革どころの話ではありません。なんとかして人手不足を解消してください！	K.I
9 教員	小学校	とにかく人が足りません。学校で本当にすべき業務は何なのか。本来の業務ではない業務が多すぎ本末転倒です。	匿名希望
10 教員	小学校	今年度は育休や病休の代替が見つかりません。そのため非常勤講師が数人いますが、定数を満たしていないため、すべての職員に負担がかかっています。1人のもつ時間数が多いだけでなく、校務分掌の担当も多いです。定数を満たすことが働き方改革への第一だと思います。	匿名希望
11 教員	小学校	管理職を中心に、削減できるもののできないものを取捨選択して、働き方改革に取り組んでくれている。	匿名希望
12 教員	高校	業務量が多く（人によって義務量に大きく差があり）、勤務時間内に終わらず、生徒対応や授業が疎かになりがち。また、持ち帰り仕事が多く、土日も自宅ではほぼ仕事をしていることが多い。給特法の改正や残業代の支給が検討されているが、業務が減るわけではないので、根本的な解決策とはならないと思う。	匿名希望
13 教員	小学校	定額働かせ放題、授業準備にゆとりがない。	匿名希望
14 教員	小学校	現在3年生の担任をしているが、専科がなく週の持ち時間は29時間である。休み時間も宿題を見たり、子ども同士のトラブルに対応したりしているため、子どもが下校するまで息をつく暇もないほどである。精神的にも肉体的にもかなり疲れており、このような状況で働き続けられるのだろうか不安にもなる。経験年数の浅い教員ならなおさらである。このような状況を変えていくためにも早急に人的な配置を行うべきである。	匿名希望
15 教員	小学校	働き方改革を断行しない限り、教職はブラックだと言われ続けるだろう。	匿名希望
16 教員	小学校	毎日時間外勤務が当たり前の状態です。人が足りず、いくつもの分掌を掛け持ちしたり、管理職が担任の仕事をしたりしています。働いた分の給料を払うか、業務を取捨選択して削減するか、対応を切実に願っています。	匿名希望
17 教員	小学校	部活動の地域移行は急務だが、そもそも部活のない小学校ですら超勤が酷い。理由は授業時数が多いからに他ならない。学力向上（キープ）を最重点とするならば、なおのこと教員数を増やし一人当たりの持ち授業時数を減らさなければならない。	匿名希望
18 教員	小学校	学校現場は、様々な教育施策をこなしていくので必死で日々多忙化しているように思います。働き方改革が声高々に叫ばれ、改善された点も多々あることも実感していますが、それは悲しい事件が後を立たず世の中全体が仕事のあり方を考え直すのに伴って改善されてきているものであり、議論や施策が教育の根本から考え直してのものは到底感じられないことが寂しい。もっと魅力ある教育現場を創り出しましょう。	はまやん
19 教員	小学校	成績をつける時期になると一日の残業が2時間になり、土日も平日のように学校に行きます。成績表の電子化、情報の持ち出し禁止により、学校でしか処理できないからです。全国一律、成績をつける時は短縮授業にしてほしいです。	紀州たかぞう
20 教員	小学校	教員の長時間労働の実態は改善されていません。「勤務開始時刻前に子どもたちが登校」、「業務に追われ取ることができない休息时间」、「時間外勤務、休日出勤に対する手当は支払われない」など、過酷な勤務環境に置かれる原因の一つが給特法による解釈に矛盾が生じているからだと感じます。長時間労働の一因となっている給特法の廃止・抜本的見直し等、勤務環境改善に向けた取り組みをよろしく願います。	匿名希望